

店舗の安全は、本社が束ねる。組織的な安全衛生の取組み

取組みのカテゴリ

安全推進組織

安全パトロール

安全衛生教育の工夫

リスクアセスメント

企業情報

所在地：東京都

従業員：12,452名

背景

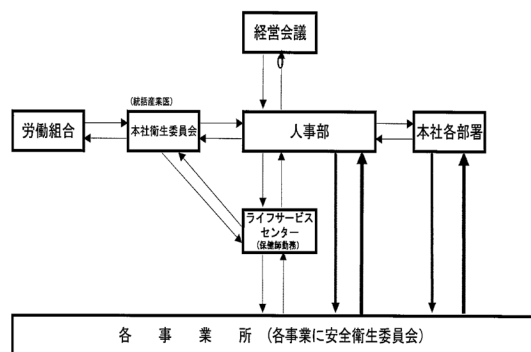
- 安全衛生委員会で話し合う内容や安全の取組みが135ある店舗ごとにバラバラで、全社的な情報の共有や取組みの徹底が不十分だったため。

取組内容

1. 【安全推進組織体制】

- 店舗ごとに個別的だった取組みを組織的かつ徹底的に実施するために、本社主導の推進組織体制を構築しました。
- 1年間の安全衛生計画を本社で作成し、実施事項の管理を人事部で実施することで取組みの徹底度を上げています。
- 安全衛生委員会議事録など、報告を求める主要な取組みはフォームを本社から発信し、内容を統一しています。
- 文書の報告だけでなく、店舗監査を実施して現地、現物で確認しています。
- 取組みが多岐に渡るようになったため、産業医・保健師を増員し、2014年に「ライフサービスセンター」を立上げ、きめ細かく対応しています。

全社安全衛生関係図



2. 【産業医巡視の工夫】

- 産業医の専門知識と職場の安全に関する客観的評価を積極的に頂くために、健康や体調の面談だけでなく職場巡視に積極的に取組んでいただける産業医の先生を探しました。
- 健康診断をお願いしている先生からの紹介だけでなく、医療派遣会社を利用しました。紹介頂いた先生と面談し、現在は、4人態勢です。
- 年間の安全衛生計画で巡視する店舗を決め、本社スタッフも同行した産業医巡視を実施しています。
- 巡視で指摘された事項は巡視店舗だけでなく、本社衛生委員会で確認し、店舗安全衛生委員会に改善要請を行っています。

落下事故要因

・酒類缶製品冷蔵ケース



駅前立地の需要とクロスリーバックルームの許容量から補充用に置かれている。しかし、パラ缶の2段積は危険の指摘

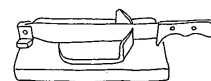


3. 【安全作業に関する冊子と教育】

- 20年以上前から、安全作業に関する注意点などを含めた冊子「あなたのいなげや」を全従業員に配布しています。
- この冊子を使って、雇い入れ時の教育などを行っています。

あなたのいなげや
ポケットガイドブック

VII. かばちやカッター



1. たいらで安定した場所にかばちやカッターを置く。
2. 切る側の手は、刃に当たらないよう注意して、一度かばちやに刃を当ててからゆっくり下ろす。

- 店舗を管轄する労働基準監督署から、リスクアセスメントについて、よくご指導を頂いていますが、なかなかレベルアップしないことが問題でした。
- 本社の労働災害実績のデータベースから全社の傾向を分析して、リスクとなりうる項目を選定した表を店舗へ配布しています。
- 各店舗にリスク評価を実施してもらい、提出してもらっています。
- 提出してもらったリスク評価の結果を本社で集計し、講じるべき対策の優先順位を決めて、実施しています。
- 店舗からは、有効なリスクアセスメントが効率的にできると好評です。
- 労働基準監督署からは、その有効性を評価頂き、優良事例として管内の企業へ横展開できないか検討頂いています。

[illegible]

- 活動当初は、効果が出て労働災害は減りました。今は、定年延長により高年齢労働者の増加で転倒災害が増えるなど、新たな課題もあって労働災害件数は横ばいです。
- 労働安全衛生の専門部署を設置したことで、全社的に健康に対する意識が向上しています。例えば、治療が必要な従業員には、専門部署所属の保健師による迅速なアドバイスするなどの取り組みを行っています。

取材年月：2021年1月

*上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。